

# 飼い主さんと伴侶動物（犬・猫）

## を守るために

### SFTS（重症熱性血小板減少症候群）感染対策 について



#### SFTSとは

SFTS（重症熱性血小板減少症候群）はマダニが媒介するウイルス感染症です。国内でも人だけではなく、犬や猫での感染・発症が報告されています。SFTSを発症した犬・猫は、発熱、元気消失、下痢、嘔吐などの症状があらわれます。まれに伴侶動物から人への感染も報告されています。SFTSの感染拡大防止のため、ご家庭での対策が必要です。

#### ⚠️ こういう時にはご注意を！

- ・外飼いの犬、外で暮らす猫を飼っている
- ・マダニの生息地域（草むら・森・畑などの自然環境のほか、都市部の公園や河川敷など）に行った
- ・伴侶動物が元気がなく、食欲不振、熱があるなどの症状がある
- ・伴侶動物とともにご自身にも体調不良がある場合

#### 飼い主さまへのお願い

- ・定期的なマダニ予防の実施
- ・伴侶動物の体調不良の場合は、直ちに動物病院にご相談を
- ・ご自身やご家族の体調不良につきましては医療機関へ

#### SFTS情報リンク

- ・厚生労働省「重症熱性血小板減少症候群（SFTS）について」  
SFTSに関する解説とQ&Aが掲載されています。



- ・日本獣医師会「重症熱性血小板減少症候群（SFTS）に係る  
注意喚起について」  
SFTSの人と動物の感染例と獣医療従事者等の専門家に向けた感染予防対策に関する内容が掲載されています。

